2024年9月作成 (2024年6月末基準)

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント株式会社



プロダクトガバナンスレポート

公募ファンドの運用について



CONTENTS もくじ

ごあ	5いさつ
会社	上体制(会社情報・各種ガバナンス体制)
経営	ビジョン/プロダクトガバナンス・ポリシー・・・・・・・・ 3
⊐ −	ポレートガバナンス体制・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
純資	産総額/会社収益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
運用	哲学/運用体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
バリ	ューマネジメント活動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
ファ	ンド提供価値の評価・改善対応フロー・・・・・・・・・・・8
カテ	ゴリごとのファンド運用状況
当レ	ポートでご報告するファンドについて・・・・・・・・・・・・・・ 9
01	外国债券•世界型 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
02	外国債券・世界型(円ヘッジ) · · · · · · · 11
03	外国債券・世界型(除く日本)・・・・・・・・ 12
04	外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)14
05	外国債券•米国型····· 17
06	外国債券・米国型(円ヘッジ) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
07	外国債券•欧州型····· 19
80	外国債券・オセアニア型 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
09	外国債券•単一国/地域····· 21
10	外国債券・ハイイールド型・グローバル ・・・・・・22
11	外国債券・ハイイールド型・グローバル (円ヘッジ) ·····23
12	外国債券・ハイイールド型・米国······24
13	外国債券・ハイイールド型・米国 (円ヘッジ) · · · · · · · · · · · · 2 5
14	外国債券・ハイイールド型・欧州・・・・・・ 26
15	外国債券・ハイイールド型・欧州 (円ヘッジ) · · · · · · · · · · · · · · · 27
16	外国債券・バンクローン型・・・・・・・・・・・ 28
17	<u> 外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)・・・・・・</u> 30
18	外国債券・新興国型・グローバル (米ドル建て) ·····32
19	外国債券・新興国型・グローバル (現地通貨建て) ·····33
20	外国債券・新興国型・グローバル (円ヘッジ)・・・・・・・ 35
21	外国債券・新興国型・アジア・・・・・・・・・・・ 36
22	外国債券・新興国型・ハイイールド型 ·············37
23	外国債券・新興国型・ハイイールド型 (円ヘッジ) · · · · · · · · 38
24	外国債券・新興国型・その他・・・・・・・・・・ 39
25	外国債券•短期型 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
26	外国債券・短期型(円ヘッジ)・・・・・・・・・・41
27	外国债券•転換社債型····· 42
28	外国債券・転換社債型 (円ヘッジ) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
29	外国債券·その他 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



ごあいさつ

私たちの経営ビジョン"「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する"には、お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いを込めています。

私たちは、当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティーを常に探求していく不断の取り組みこそが、 "お客さまの資産形成・資産運用や持続可能な社会の実現に貢献する"ことに繋がるとの考えから、フィデューシャリー・デューティーを当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでいます。

商品・サービスの更なる向上に向けた取り組みの進捗状況や、社員研修によるお客さま本位の姿勢の定着度合いなどをモニタリングするため、フィデューシャリー・デューティー推進委員会を定期的に開催しています。

また、当社では経営会議傘下に社外取締役も参加する「プロダクトガバナンス・サブコミッティ」(以下 [PGSC])を設置してまいりましたが、フィデューシャリー・デューティーとプロダクトガバナンスに係る取り組みの監督機能強化のため、2024年8月付でPGSCを廃止し、取締役会傘下にフィデューシャリー・デューティー/プロダクトガバナンス諮問会議を新たに設置しました。本諮問会議を社外取締役主体の会議体とすることで、これまで以上に監督的な視点を強化し、お客さま本位の業務運営やプロダクトガバナンスに関する取り組みの更なる深化を進めております。

当レポートは、当社のプロダクトガバナンス態勢についてご説明することに加えて、プロダクトガバナンスの視点で、当社が設定・運用する公募ファンドについて、お客さまにコストに見合うリターンを提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能か等を定期的に検証し、個別ファンドごとに品質管理を行った結果をご報告させていただくものです。

お客さまや社会が求める未来は、価値観や時代などに応じて変化しますが、私たちは、いつの時代も資産運用を通じてより良い未来づくりにアセットマネジメント会社として貢献してまいりたいと考えております。

引き続き、三菱UFJアセットマネジメントをご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

取締役社長 横川 直



経営ビジョン/プロダクトガバナンス・ポリシー

当社が投資信託を通じ、お客さまの大切なご資金をお預かりするという役割の重要性と、社会に果たすべき責任を踏まえ、当社の"社会における存在意義"を定義した「経営ビジョン」を定めています。経営ビジョンを企業活動の拠り所としながら、特に投資信託をご活用いただくお客さまの目線に立った商品・サービスの提供・品質向上に向けて重視する事項を「プロダクトガバナンス*・ポリシー」として定め、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。

* 「プロダクトガバナンス」とは、お客さまへ良質な商品 (プロダクト)・サービスを提供するために、商品の組成・運用において適切な運営・モニタリング・品質管理を行うことを指します。

経営ビジョン

社会においてこうありたいという第三者的な視点に立ち、資産運用を社会インフラのひとつとして根付かせ、資産運用の拡大と共に成長していくとの想いを経営ビジョンとして策定しています。

「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する

わたしたちは、資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、 より良い未来に貢献します。

三菱UFJアセットマネジメントは、プロフェッショナルとして、お客さまの大切なご資金を運用する 資産運用会社です。わたしたちの「経営ビジョン」には、お客さまの資産形成・資産運用に 貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いが込められています。

プロダクトガバナンス・ポリシー

プロダクトガバナンスにおいて、お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、更なる品質向上に取り組んでいます。



商品性

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った 最適な商品の組成・提供を目指します



運用管理

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します



開示

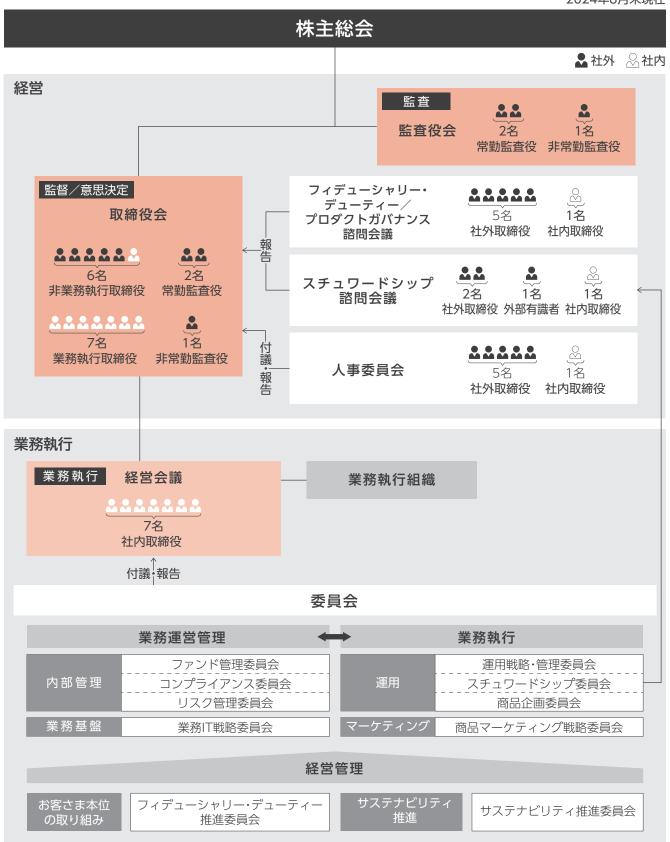
お客さまの投資判断に必要な情報を ご理解いただきやすく提供することを 目指します

- ●提供価値(ファンドの目的・特色)の 明確化
- ●信託報酬(運用管理費用)等控除後の 運用成果のモニタリングを徹底
- ●運用成果の追求に向けた取組みの 徹底
- ●ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応
- ●正確な情報をわかりやすく提供
- ●様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

コーポレートガバナンス体制

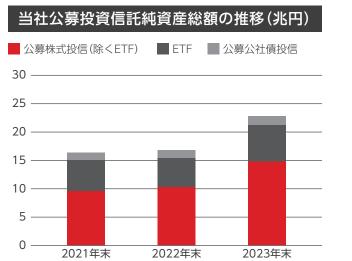
適切なプロダクトガバナンスには、適切なコーポレートガバナンス体制が必須条件と考えております。 当社では経営の監督・意思決定を行う取締役会と、それを監査する監査役会のもと、経営会議傘下で業 務執行に当たっています。外部目線の導入が特に必要と考える会議体には、社外取締役・外部有識者に 参加いただき、コーポレートガバナンスの高度化に努めています。

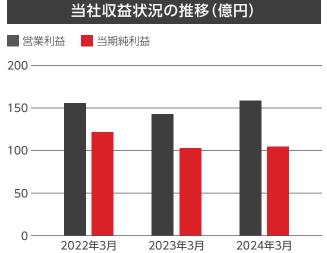
2024年8月末現在



純資産総額/会社収益

ファンド運営の前提となる会社の継続性に関しまして、当社ファンドへのお客さまからのご支持に加えて資産運用の浸透・拡大も受け、2023年末時点の当社公募投資信託純資産総額は22.8兆円となりました。また、収益状況は安定的に推移しております。





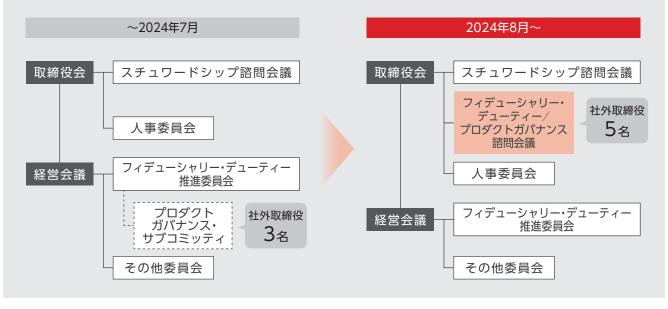
TOPICS

フィデューシャリー・デューティー/プロダクトガバナンス(FD/PG)諮問会議の新設

当社は、これまでも経営会議傘下に「プロダクトガバナンス・サブコミッティ」(以下「PGSC」)を設置し、社外取締役も参加する社内組織において、プロダクトガバナンス高度化に向けて社内外の視点を採り入れた取り組みを進めてまいりました。

この度、フィデューシャリー・デューティー(お客さま本位の業務運営)とプロダクトガバナンス(商品の組成・運用に対する適切な運営・モニタリング・品質管理)に係る取り組みの監督機能強化のため、PGSCを廃止し、新たに取締役会傘下に「FD/PG諮問会議」を設置いたしました。

本諮問会議は、社外取締役主体の会議体とすることにより、これまで以上に監督的な視点を強め、またプロダクトガバナンスだけでなくフィデューシャリー・デューティーの取組状況のモニタリング等にまでテーマを拡げることにより、お客さま本位の業務運営やプロダクトガバナンスに関する取り組みの更なる深化を進めます。



運用哲学/運用体制

当社の運用プロフェッショナルが、付加価値の創造、的確なリスク管理、規律ある運用プロセスなどの運用哲学に基づき、投資いただいているお客さまに最良の投資成果をお届けできるように努めています。また運用部門では、組織的で再現性の高い運用体制を構築し、商品の設定から償還まで、お客さまにクオリティの高い商品を継続的に提供できるように、これまで別部門にあった商品開発機能を運用部門内に設置(2024年4月1日付)しました。更にサステナブル投資の観点から社会課題解決に資するスチュワードシップ活動や、テクノロジーを活用した競争力ある効率的な取引執行に取り組むなど、お客さまにご満足いただける投資成果を安定的かつ継続的に提供することを目指しています。

運用哲学

〇1 付加価値の創造

最良の運用成果を得るためには、徹底した調査・分析と適切な運用判断による付加価値の創造が必要です。私たちは、徹底した情報収集、詳細な分析、適切な判断を通じて付加価値の獲得を目指します。

○2 的確なリスク管理

運用においては、意図したリスクを取り、意図しないリスクを排除することが必要です。私たちは、的確なリスク管理を実践し、効率的に付加価値の獲得を目指します。

○3 規律ある運用プロセス

規律と一貫性のあるプロセスが、運用の質的向上につながります。私たちは、チームワークを重視し、かつ「Plan→Do→See」に裏打ちされた規律あるプロセスによって、運用の一貫性を確保します。

04 適切な情報開示

お客さまに信頼していただきながら、ご期待に沿った資産運用を行うためには、情報の開示が不可欠です。私たちは、運用の状況と運用に対する考え方を適切にお伝えすることにより、お客さまの信頼獲得を目指します。

運用体制

(2024年8月末現在)

運用部門 部門長 高鍋 朗 運用経験年数 30年

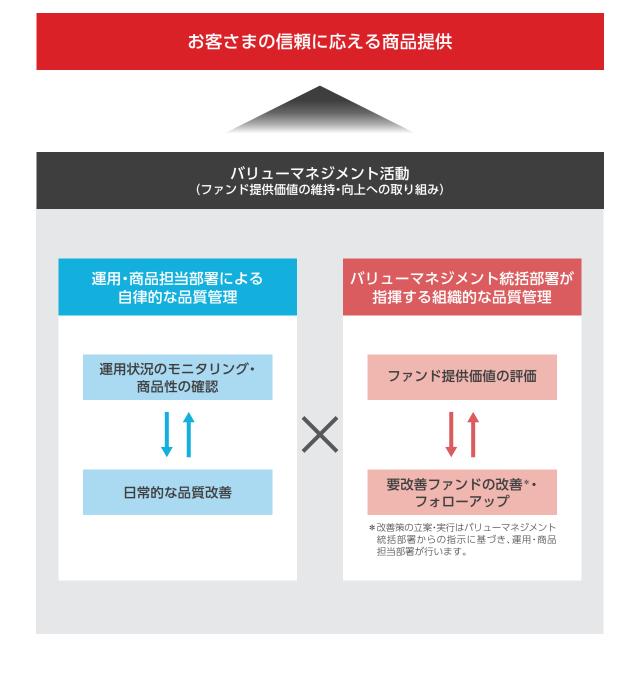
	運用部	運用責任者 (運用経験年数)	運用対象	FM人員 (運用経験年数)	担当運用資産* (十億円)
			主としてバランス型ファンド・ 計量的手法等を利用したファンドの運用	19名 (平均13年)	576
運用担当	株式運用部 森 博 (27年)		主として内外株式の運用	42名 (平均19年)	931
	債券運用第一部	氏原 圭作 (35年)	主として内外債券の運用	9名 (平均21年)	728
担当	債券運用第二部 瀧川 眞道 (32年)		主として内外債券の運用	24名 (平均12年)	2,735
	インデックス運用部	石崎 健 (17年)			26,440
	外部委託運用部	笹井 泰夫 (28年)	主として外部運用会社との 提携ファンドの運用	30名 (平均8年)	7,344

*国内籍の公募および私募投信、投資一任を対象に集計

=	運用企画部	運用に関する施策企画、運用モニタリングおよびファンドマネジャーのパフォーマンス評価
\dashv	サステナブル投資推進部	サステナブル投資に関する業務および施策企画
\dashv	トレーディング部	有価証券等の発注およびファンド余資運用
=	商品開発部	商品開発に関する企画立案、投資信託等に関わる商品開発および分配金・償還・品質維持・品質改善管理、商品関連契約

バリューマネジメント活動

プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、ファンド提供価値の維持・向上へ継続的に取り組んでいます (バリューマネジメント活動)。運用・商品担当部署においてはファンドの各種運営とともに、ファンドの品質管理・改善を自律的に行っております。それに加え、バリューマネジメント統括部署においてファンド提供価値の評価を行い、必要に応じて運用あるいは商品性の改善を促すなど、お客さまの信頼に応える商品提供を心掛けております。



ファンド提供価値の評価・改善対応フロー

当社が設定・運用する公募ファンド (MRF、単位型を除く)を対象に、ファンド提供価値の評価を行います。その結果、運用や商品性に改善を要すると考えられるファンド (要改善ファンド) については改善策を策定します。ファンド提供価値の評価・改善対応は以下のフローに基づいて行っており、当レポートでは、評価結果および改善対応の状況についてご報告いたします。

STEP 01

パフォーマンス評価

- ●当社が設定・運用する公募ファンド(MRF、単位型を除く)について、コスト控除後のリターン*1を 用いて、当社ファンドと同じカテゴリ*2に所属する競合他社ファンドのなかでの相対的な順位を 確認します。
- ●競合他社ファンドとの比較は5年、10年、設定来などの複数期間*3で行います。
- *1 お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているか確認するため、分配金再投資換算の基準価額を使って信託報酬 (運用管理費用)等控除後のリターンを算出します。
- *2 恣意性を排除するため、外部評価機関であるMorningstarによるモーニングスター・カテゴリを使用します。モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。
- *3 インデックスファンドについては、特定指数と同じ値動きを目指す商品性であること等から、対象指数との期間1年の連動性も含めて評価します。

STEP 02

ファンド提供価値の評価

- ●STEP1のパフォーマンス評価において、パフォーマンスの相対順位が一定水準以下となる競合他 社比で劣後しているファンドについて、多角的な視点からより詳細な分析を行います。
- ●パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性などの分析を行い、お客さまにご負担いただいたコストに見合うリターンが提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能かなどの観点からファンド提供価値を評価します。

STEP

要改善ファンドの特定・改善策の検討

●STEP2の分析により、運用や商品性に改善すべき課題が特定された場合には、ファンド提供価値の向上を目的として、当該課題を解決すべく改善策を検討します。

O4

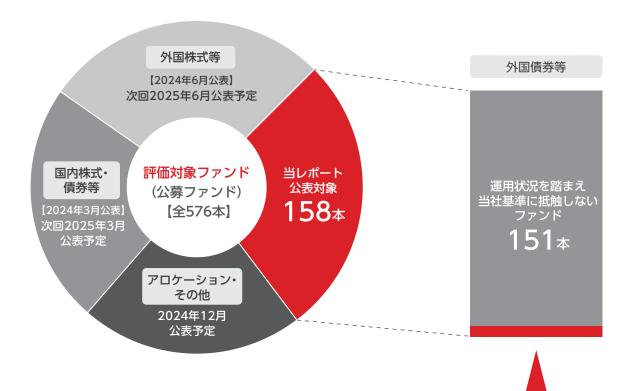
要改善ファンドのフォローアップ

- ●STEP3で策定した改善策が効果を発揮し改善が図られているかモニタリングを行い、お客さまに十分な価値提供ができているか確認できるまでフォローアップを継続します。
- ●改善策やその後の進捗状況については、当レポートでお客さまに開示します。

当レポートでご報告するファンドについて

当レポートでは評価対象ファンドを「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の4つに分類し、各分類でとに順次公表いたします。今回は「外国債券等」に分類する158本のファンドを対象とし、評価した結果、以下7本のファンドについて要改善ファンドに該当すると判断いたしました。分析結果や改善に関する取り組み状況については、モーニングスター・カテゴリ別に次ページからご説明いたします。

- ※「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の分類はモーニングスター・カテゴリを基に当社が行います。モーニングスター・カテゴリで外国債券、ハイブリッド証券に属するファンドを「外国債券等」に分類しています。
- ※各ファンドの分析はモーニングスター・カテゴリ内における比較により行います。各ファンドの所属カテゴリや公表予定時期については当社ホームページ内プロダクトガバナンスレポートページ上のエクセルファイルをご確認ください。
- ※モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。



要改善ファンド**7**本

ファンド名	設定日	掲載ページ
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	2010/04/16	15
三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	16
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	29
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	29
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	31
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	31
グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型)〈愛称:星こよみ〉	2006/08/25	34

○1 外国債券·世界型

対象ファンド数

当社15ファンド/業界全体80ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド15本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)					
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)		
13.9	7.9	6.4	3.7	1.35		

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

日本を含む世界の主要先進国の債券を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	2014/05/21	64	
2	PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	2014/05/21	281	
3	外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	2019/01/28	15	
4	グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	2019/03/04	9	
5	グローバル・ソブリン・オープン (1年決算型)	2002/03/05	34	
6	グローバル・ソブリン・オープン (3ヵ月決算型)	1997/12/18	184	
7	グローバル・ソブリン・オープン (DC年金)	2002/09/30	34	
8	グローバル・ソブリン・オープン (資産成長型) 〈愛称:グロソブN〉	2013/11/15	24	
9	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1997/12/18	2,836	
10	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	2017/10/02	369	
11	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2017/10/02	301	
12	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)〈愛称:花こよみ年1〉	2013/12/16	190	
13	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)〈愛称:花こよみ〉	2003/07/09	901	
14	三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)〈愛称:グローバル・トップ年1〉	2017/01/23	5	
15	三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド (毎月決算型) 〈愛称:グローバル・トップ〉	2010/02/18	398	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・世界型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

○2 外国債券・世界型(円ヘッジ)

対象ファンド数

当社10ファンド/業界全体109ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド10本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)				
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)	
▲0.8	▲ 4.9	▲ 2.7	▲ 1.4	1.21	

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

日本を含む世界の主要先進国の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	eMAXIS 債券バランス(2資産均等型)	2015/08/27	2	
2	PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(年2回分配型)	2014/05/21	18	
3	PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	2014/05/21	40	
4	グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	2019/03/04	6	
5	国際機関債オープン(為替ヘッジあり)	2010/11/15	49	
6	国内債券セレクション(ラップ向け)	2017/03/13	685	
7	世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:プレミア・コレクション〉	2016/01/29	190	
8	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	2017/10/02	69	
9	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2017/10/02	22	
10	ラップ向け先進国高格付国債ファンド II	2022/01/27	1	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・世界型 (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

○3 外国債券・世界型(除く日本)

対象ファンド数

当社24ファンド/業界全体157ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド24本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)					
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)		
13.1	6.7	5.9	3.4	0.83		

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

日本を除く世界の主要先進国の債券を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	2017/02/27	1,454	
2	eMAXIS 先進国債券インデックス	2009/10/28	182	
3	海外債券セレクション(ラップ向け)	2017/03/27	259	
4	バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型) 〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	25	
5	バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	45	
6	ファンド・マネジャー(海外債券)	2007/10/31	17	
7	三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	2006/05/15	433	
8	三菱UFJ <dc>海外債券オープン</dc>	2001/10/18	33	
9	三菱UFJ <dc>外国債券インデックスファンド</dc>	2001/12/18	49	
10	三菱UFJ DC年金インデックス (先進国債券)	2018/09/26	75	
11	三菱UFJ 海外債券オープン	2000/08/11	195	
12	三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)〈愛称:四季の恵み(海外債券)〉	2002/02/05	139	
13	三菱UFJ 外国債券オープン	2000/08/18	23	
14	三菱UFJ 外国債券オープン(確定拠出年金)	2002/02/08	89	
15	三菱UFJ 外国債券オープン (毎月分配型)	2002/08/29	450	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・世界型(除く日本)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日:2024年6月末

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
16	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(年1回決算型)	2008/03/31	67	
17	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(毎月分配型)	2007/04/19	11	
18	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2013/10/25	23	
19	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2013/10/25	45	
20	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (隔月決算型)〈愛称:世界のいしずえ〉	2023/11/30	0.2	
21	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)〈愛称:世界のいしずえ〉	2018/01/22	142	
22	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)〈愛称:世界のいしずえ〉	2012/06/01	2,066	
23	ラップ向けインデックス f 先進国債券	2021/04/16	93	
24	ワールド・インカムオープン	2003/04/24	27	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型(除く日本)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

○4 外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)

対象ファンド数 当社10ファンド/業界全体88ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド10本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド2本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- ●なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
1 .0	▲ 6.3	▲3.2	▲1.1	0.97

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

日本を除く世界の主要先進国の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧(網掛けは要改善ファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	e M A X I S 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)	2016/07/01	11	
2	世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	2010/04/16	29	
3	バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	4	
4	バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	5	
5	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(年1回決算型)	2013/10/25	7	
6	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(毎月決算型)	2013/10/25	12	
7	三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	61	
8	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (年1回決算型)〈愛称:世界のいしずえ〉	2018/01/22	17	
9	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)〈愛称:世界のいしずえ〉	2012/06/01	130	
10	ラップ向けインデックス f 先進国債券(為替ヘッジあり)	2022/01/06	70	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

個別ファンドごとの改善に向けた取り組み

世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)

以下URL (当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。 https://www.am.mufg.jp/fund/148046.html

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- ●安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
- ●ワールド・インベストメント・グレード・ボンド・ファンド*1への投資を通じて、主として日本を除く*2世界の投資適格格付け(BBB格相当以上)を有する社債*3とソブリン債券*4に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。
- ●原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
- *1円建のケイマン籍投資信託証券で、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用を行います。
- *2 日本国内で発行されるものおよび海外で発行される円建のものを除きます。なお、日本企業が海外において外貨建で発行する社債へ投資することがあります。
- *3 当ファンドにおいて、社債にはCoCosを含みます。CoCosについては、投資信託説明書(交付目論見書)に記載している投資リスク「CoCos固有のリスク」をご参照ください。
- *4 当ファンドにおいて、ソブリン債券とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称で、自国通貨建・外国通貨建があります。また、世界銀行やアジア開発銀行など国際機関が発行する債券もこれに含まれます。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

- ●当ファンドは世界の投資適格格付けを有する社債とソブリン債券に投資を行い、対円で為替へッジを行います。2020年のコロナ危機に伴う社債価格下落後の急回復局面でクレジットリスクを低く抑えたことや、2022年の世界各国の金利上昇局面で、基本投資比率よりも社債を多めに保有したことによる、社債とソブリン債券の資産配分による効果や、金利上昇による為替へッジコストの上昇等の投資環境悪化もパフォーマンス悪化の一因となりました。
- ●信託報酬率が1.52%程度(税込み、年率)であるのに対して、投資を行っている外国籍投信の残高減少に伴い取引コスト等の影響が高まり、総経費率(コスト)が1.84%程度(年率)に上昇している状況もパフォーマンスの悪化要因となりました。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- ●当ファンドは為替ヘッジコストの高い環境や、総経費率の上昇等厳しい状況が続いておりますが、主要投資対象である社債とソブリン債券の運用パフォーマンス改善状況についてモニタリングを継続し、過去の悪化要因となったクレジットリスクの取り方、社債とソブリン債券の資産配分についても改善がみられることを確認しております。
- ●現状のJPモルガン・アセット・マネジメント (UK) リミテッドの運用プロセス、運用体制など運用面のクオリティは確保されていると判断しております。運用状況につき注意深くモニタリングしつつ、2025年3月に予定している満期償還までパフォーマンスの改善努力を積み重ねてまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- ●当ファンドは、外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを多くの期間で下回る状況です。
- ●コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

	純資産		純資産 リターン(%)					776
	設定日	設定日 総額 (億円) 過	過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	コスト (%)
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	2010/04/16	29	▲ 1.8	▲ 7.6	▲ 4.0	▲ 1.7	▲0.2	1.84
外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ) カテゴリ平均			▲1.0	▲ 6.3	▲3.2	▲1.1	0.2	0.97

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、 売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。

※外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

個別ファンドごとの改善に向けた取り組み

三菱UFJヘッジ付外国債券オープン

以下URL (当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。 https://www.am.mufg.jp/fund/260664.html

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- ●世界主要国(日本を除く)の公社債を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。
- ●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース) をベンチマーク (運用成果の目標基準) とし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
- ●運用にあたっては、クオンツモデルを活用します。
- ●原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

- ●2021年以降のグローバルなインフレ加速を背景に、主要国中央銀行による金融引き締めによって主要国金利が上昇(債券価格は下落)し、ヘッジコストも上昇したことから、ヘッジ付外国債券運用には厳しい投資環境となりました。
- ●このような環境下、カテゴリ平均およびベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を下回る投資成果となり、運用に活用しているクオンツモデルの有効性について検証した結果、債券市場のリスクが高止まりし、金利が上昇した局面で、価格下落の幅が大きい残存期間が長めの債券に多めに投資をしていたことなどによるパフォーマンスの悪化傾向が見られ、主に残存期間等の配分によるリスクの取り方に課題があることを確認しました。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- ●主要国のインフレ指標は低下基調となっており、市場では主要国中央銀行による利下げも織り込まれていることから、ヘッジ 付外国債券運用の投資環境については改善傾向を見込んでおります。
- ●運用に活用しているクオンツモデルについて、金利予測結果に基づくリスクの取り方の見直しなど改良を行いました。これにより、残存期間等の配分に金利変化の見通しをよりダイレクトに反映した運用を行うことを目指します。
- ●引き続きパフォーマンスの向上に向けた、クオンツモデルの継続的なモニタリングおよび改良を実施してまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- ●当ファンドは、外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンやベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を多くの期間で下回る状況です。
- ●コストは、同カテゴリ平均値を下回る水準です。

		純資産		リ	ターン(%)		コスト
	設定日 総額 (億円)	過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	(%)	
三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	61	▲ 2.9	▲ 7.8	▲ 4.3	▲1.0	▲0.4	0.42
外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリ平均			▲1.0	▲ 6.3	▲3.2	▲1.1	▲0.6	0.97
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)			▲ 2.3	▲ 6.8	▲3.5	▲0.6	▲0.1	

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、 売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。

※外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

- ※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。
- ※FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース) は、外国債券市場の値動きをご説明するために記載しており、当ファンドのベンチマークです。指数については巻末の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

○5 外国債券·米国型

対象ファンド数

当社4ファンド/業界全体70ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド4本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)							
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)				
14.0	9.2	7.6	5.6	0.77				

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国の国債、社債、モーゲージ証券など債券全般を主な投資対象とする。

1	Vo.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
	1	MAXIS米国国債1-3年上場投信(為替ヘッジなし)	2024/04/24	19	
	2	MAXIS米国国債20年超上場投信(為替ヘッジなし)	2024/04/24	2	
	3	MAXIS米国国債7-10年上場投信(為替ヘッジなし)	2021/12/09	85	
	4	三菱UFJ 米国債券オープン (毎月分配型)	2003/03/06	53	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・米国型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

○ 分国債券・米国型(円ヘッジ)

対象ファンド数

当社2ファンド/業界全体43ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)							
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)				
▲ 2.6	▲ 7.0	▲3.1	▲ 1.0	0.81				

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国の国債、社債、モーゲージ証券など債券全般を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	MAXIS米国国債20年超上場投信(為替ヘッジあり)	2024/04/24	2	
2	MAXIS米国国債7-10年上場投信(為替ヘッジあり)	2021/12/09	56	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・米国型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券·欧州型

対象ファンド数

当社3ファンド/業界全体16ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)						
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)			
12.3	3.8	3.7	1.6	1.19			

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

欧州主要先進国通貨建てもしくはユーロ建ての欧州先進国の国債、社債、モーゲージ証券など債券全般を主な投資対象とする。

No	. ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	三菱UFJ 欧州債券オープン(3ヵ月決算型)(愛称:四季の恵み(欧州債券))	2002/07/09	12	
2	三菱UFJ ユーロ債券オープン (毎月分配型)	2003/01/09	20	
3	ユーロランド・ソブリン・インカム	1998/08/28	47	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・欧州型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

○ 8 外国債券・オセアニア型

対象ファンド数

当社7ファンド/業界全体47ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド7本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)							
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)				
14.1	5.4	5.3	2.4	1.29				

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

豪ドル建てもしくはニュージーランドドル建てのオセアニアの公社債を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	eMAXIS 豪州債券インデックス	2016/07/01	3	
2	オーストラリアインカムオープン	2003/09/26	58	
3	豪ドル年1回決算型ファンド	2017/08/30	42	
4	豪ドル毎月分配型ファンド	2003/05/30	352	
5	三菱UFJ オーストラリアボンドファンド (毎月分配型) 〈愛称:夢満債 (豪ドルコース)〉	2003/10/31	30	
6	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン〈愛称:夢実月〉	2003/03/14	420	
7	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型)〈愛称:夢実月〉	2013/12/06	16	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・オセアニア型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

対象ファンド数

当社6ファンド/業界全体76ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)							
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)				
18.3	6.9	4.6	2.5	1.46				

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

カテゴリの定義

日本以外の主要先進国(米国、欧州、オセアニアを除く)および新興国(アジアを除く)の単一国または単一地域の 債券を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	インド債券オープン(年1回決算型)	2017/07/03	46	
2	インド債券オープン(毎月決算型)	2011/08/19	167	
3	国際インド債券オープン(毎月決算型)	2011/12/16	77	
4	ブラデスコ ブラジル債券ファンド (成長重視型)	2008/11/07	8	
5	ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)	2008/11/07	33	
6	三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)〈愛称:インドの宝〉	2012/06/18	40	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・単一国/地域カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券・ハイイールド型・グローバル

対象ファンド数

当社2ファンド/業界全体15ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)					
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)		
16.5	11.0	9.3	6.3	1.64		

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

日本を含む主要先進国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類 されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスク の変動による価格変動リスクが大きい。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	2004/09/30	305	
2	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	2003/08/08	672	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[%]外国債券・ハイイールド型・グローバルカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

11 外国債券・ハイイールド型・グローバル(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体9ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
2.3	▲ 4.4	▲ 1.3	0.1	1.41

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

日本を含む主要先進国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)	2004/01/16	13	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・ハイイールド型・グローバル (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

12 外国債券・ハイイールド型・米国

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体39ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
20.8	13.7	11.1	7.6	1.50

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

カテゴリの定義

米国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動 リスクが大きい。

No	. ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	2010/09/27	27	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・ハイイールド型・米国カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

13 外国債券・ハイイールド型・米国(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体32ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
2.8	▲3.0	▲0.1	0.6	1.63

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

米国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	2010/09/27	9	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・ハイイールド型・米国(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

14 外国債券・ハイイールド型・欧州

対象ファンド数 当社2ファンド/業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)					
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)		
19.1	9.8	8.6	4.4	1.80		

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

No	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)〈愛称:ユーロ・スピリッツ〉	2012/06/15	37	
2	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし) (年1回決算型) 〈愛称:ユーロ・スピリッツ年1〉	2018/05/23	2	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[%]外国債券・ハイイールド型・欧州カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

15 外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社2ファンド/業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)					
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)		
4.5	▲ 1.2	0.6	1.8	1.80		

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、一般的に、他のタイプに比べて構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

No	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:ユーロ・スピリッツ〉	2012/06/15	21	
2	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり) (年1回決算型) 〈愛称:ユーロ・スピリッツ年1〉	2018/05/23	1	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

16 外国債券・バンクローン型

対象ファンド数 当社5ファンド/業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド5本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド2本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- ●なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学と プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう 努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
20.2	17.3	11.4	7.2	1.81

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界のバンクローンを主な投資対象とする。バンクローンは、相対的に信用力が低い投資適格未満の企業に対する貸付債権であるため、一般的な投資適格債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧(網掛けは要改善ファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	38	
2	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	128	
3	米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)〈愛称:USストリーム〉	2017/05/08	2	
4	米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)〈愛称:USストリーム〉	2013/12/09	41	
5	三菱UFJ米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型) (愛称:スマートスター)	2013/10/15	52	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・バンクローン型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準円:2024年6月末

個別ファンドごとの改善に向けた取り組み

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>

(毎月決算型)/(年1回決算型)

以下URL (当社ホームページ) の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書) および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。 https://www.am.mufg.jp/fund/252053.html / https://www.am.mufg.jp/fund/252072.html

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- ●主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン(貸付債権)等に実質的な投資を行います。米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。
- ●投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ●投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ウエスタン社)が行います。
- ●円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン社の日本拠点であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の 投資助言を受けます。
- ●原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

- ●当ファンドは、相対的に保守的な銘柄構成となっており、バンクローン市況の下落局面ではパフォーマンスが同カテゴリ比で良好となりやすい一方、バンクローン市況の上昇局面では劣後する傾向がありました。
- ●上記の保守的な銘柄構成から、ファンド設定後、2016年~2017年の景気回復局面や、2020年前半のコロナ禍からの回復局面で、バンクローン相場の上昇に追随できませんでした。
- ●当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券にも投資を行いますが、同債券はバンクローンと比べて金利上昇時に価格が下落(金利低下時に価格が上昇)する特性があります。2016年後半から2017年末にかけて金利上昇の影響等により保有するハイイールド債券の価格が下落したことに加え、2022年後半に保有銘柄の一部が格下げとなり価格が下落したこともパフォーマンスの悪化要因となりました。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- ●これまで、相対的に保守的な銘柄選択などがパフォーマンスの悪化要因となりましたが、2019年2月に運用主担当者が交代して以降、局面に応じてBBB格、BB格への投資比率を減らし、B格への投資比率を引き上げるなど、これまで以上に、市況見通しに応じてより積極的な運用を行いました。積極的な銘柄選択がマイナスとなる局面もありましたが、総じて改善が見られたことを確認しております。また、銘柄選択に際しては、業種および発行体の分散による信用リスク管理に注力するなど、継続的に運用改善に取り組んでおります。
- ●今後も、投資成果の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- ●当ファンドは、外国債券・バンクローン型カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを多くの期間で下回る状況です。
- ●コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

		純資産		IJ	ターン(%)		776
	設定日	総額 (億円)	過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	コスト (%)
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	128	19.8	16.7	10.8	6.5	6.3	1.94
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	38	19.8	16.7	10.8	6.5	6.3	1.85
外国債券・バンクローン型 カテゴリ平均			20.2	17.3	11.4	7.2	7.1	1.81

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。

※外国債券・バンクローン型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)

対象ファンド数

当社5ファンド/業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド5本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド2本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- ●なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
2.4	0.2	0.3	0.4	1.81

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界のバンクローンを主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。バンクローンは、相対的に信用力が低い投資適格未満の企業に対する貸付債権であるため、一般的な投資適格債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧(網掛けは要改善ファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	16	
2	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	21	
3	米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)〈愛称:USストリーム〉	2017/05/08	1	
4	米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型) 〈愛称:USストリーム〉	2013/12/09	9	
5	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型) 〈愛称:スマートスター〉	2013/10/15	16	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・バンクローン型 (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準円:2024年6月末

個別ファンドごとの改善に向けた取り組み

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>

(毎月決算型)/(年1回決算型)

以下URL (当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。 https://www.am.mufg.jp/fund/252048.html / https://www.am.mufg.jp/fund/252067.html

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- ●主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン(貸付債権)等に実質的な投資を行います。米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。
- ●投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ●投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ウエスタン社)が行います。
- ●円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン社の日本拠点であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の 投資助言を受けます。
- ●原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

- ●当ファンドは、相対的に保守的な銘柄構成となっており、バンクローン市況の下落局面ではパフォーマンスが同カテゴリ比で良好となりやすい一方、バンクローン市況の上昇局面では劣後する傾向がありました。
- ●上記の保守的な銘柄構成から、ファンド設定後、2016年~2017年の景気回復局面や、2020年前半のコロナ禍からの回復局面で、バンクローン相場の上昇に追随できませんでした。
- ●当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券にも投資を行いますが、同債券はバンクローンと比べて金利上昇時に価格が下落(金利低下時に価格が上昇)する特性があります。2016年後半から2017年末にかけて金利上昇の影響等により保有するハイイールド債券の価格が下落したことに加え、2022年後半に保有銘柄の一部が格下げとなり価格が下落したこともパフォーマンスの悪化要因となりました。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- ●これまで、相対的に保守的な銘柄選択などがパフォーマンスの悪化要因となりましたが、2019年2月に運用主担当者が交代して以降、局面に応じてBBB格、BB格への投資比率を減らし、B格への投資比率を引き上げるなど、これまで以上に、市況見通しに応じてより積極的な運用を行いました。積極的な銘柄選択がマイナスとなる局面もありましたが、総じて改善が見られたことを確認しております。また、銘柄選択に際しては、業種および発行体の分散による信用リスク管理に注力するなど、継続的に運用改善に取り組んでおります。
- ●今後も、投資成果の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- ●当ファンドは、外国債券・バンクローン型 (円ヘッジ) カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを多くの期間で下回る状況です。
- ●コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

		純資産		IJ	ターン((%)		776
	設定日	総額 (億円)	過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	コスト (%)
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	21	2.0	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	1.94
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	16	2.0	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	1.85
外国債券・バンクローン型(円ヘッジ) カテゴリ平均			2.4	0.2	0.3	0.4	0.4	1.81

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。

※外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後の リターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当 ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

外国債券・新興国型・グローバル(米ドル建て)

対象ファンド数

当社9ファンド/業界全体33ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド9本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リターン(%)							
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)				
21.0	9.1	7.3	6.0	1.40				

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

新興国(ラテンアメリカ、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の米ドル建て債券を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(年2回分配型)	2013/02/20	1	
2	PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	2011/02/16	10	
3	エマージング・ソブリン・オープン (1年決算型)	2003/08/08	138	
4	エマージング・ソブリン・オープン (資産成長型) 〈愛称:エマソブN〉	2013/11/06	52	
5	エマージング・ソブリン・オープン (毎月決算型)	2003/08/08	223	
6	グローバル・エマージング・ボンド・オープン〈愛称:受取物語〉	1998/07/31	145	
7	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	2005/03/04	71	
8	ピムコ·エマージング·ボンド·オープン Cコース(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	2013/10/31	5	
9	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	43	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・グローバル (米ドル建て) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)

対象ファンド数

当社4ファンド/業界全体57ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド4本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド1本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- ●なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
11.4	9.8	6.6	2.7	1.21

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

新興国(ラテンアメリカ、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の現地通貨建て債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧(網掛けは要改善ファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	eMAXIS 新興国債券インデックス	2010/09/13	60	
2	グローバル・ボンド・ニューマーケット (毎月決算型) 〈愛称:星こよみ〉	2006/08/25	34	
3	三菱UFJ DC新興国債券インデックスファンド	2010/10/29	234	
4	ラップ向けインデックス f 新興国債券	2021/04/16	57	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・グローバル (現地通貨建て)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日:2024年6月末

個別ファンドごとの改善に向けた取り組み

グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型)

<愛称:星こよみ>

以下URL (当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。 https://www.am.mufg.jp/fund/260190.html

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- ●アッパーミドル諸国*の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の 獲得をめざします。
- *ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。
- ●アッパーミドル諸国の中から、信用格付けがA-~A+格相当の国を中心に、金利水準が高い国を複数選定します。
- ●アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。
- ●ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資します。
- ●原則として、為替ヘッジを行いません。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

- ●信用格付けと金利水準を基に投資対象国を選定する運用プロセスに則り投資を行った、ロシア国債や南アフリカ国債、ブラジル国債の保有がパフォーマンス低迷の主たる要因となりました。
- ●2021年後半から2022年2月にかけてロシア国債をポートフォリオに一部組み入れておりましたが、2022年2月にロシアがウクライナへの軍事侵攻に踏み切ったことによりロシア国債および当該国通貨が大幅に下落しました。当該軍事侵攻の開始を受け、速やかにロシア国債の売却を行いましたが、当該国通貨や債券価格の下落がパフォーマンス悪化要因となりました。
- ●また、2020年の南アフリカ国債の格付け引き下げや2015年のブラジル国債の格付け引き下げを受けて、当時保有していた当該国通貨や債券価格の下落もパフォーマンス悪化の一因となりました。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- ●パフォーマンス改善を目指して、2024年2月に、投資対象国の選定プロセスに、早期にリスク警戒を行うための指標を導入し、投資対象国の信用リスクの上昇を早期に検知し、入れ替えを実施できるよう除外プロセスの改善等を実施しています。
- ●当ファンドの投資対象であるアッパーミドル諸国のファンダメンタルズの悪化や地政学リスクが高まる環境下、組成時に 想定したファンドの目的の継続性の確認を含め、パフォーマンス改善に向けて更なる検討を進めております。

パフォーマンスと運用コスト

- ●当ファンドは、外国債券・新興国型・グローバル (現地通貨建て)カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを表に記載の過去3年以上の期間では下回る状況ですが、過去1年では上回っております。
- ●コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

		純資産		IJ	ターン(%)		771
	設定日	総額 (億円)	過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	コスト (%)
グローバル・ボンド・ニューマーケット (毎月決算型)	2006/08/25	34	12.4	8.5	5.1	1.6	1.8	1.28
外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)カテゴリ平均			11.4	9.8	6.6	2.7	3.5	1.21

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、 売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。

※外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

外国債券・新興国型・グローバル(円ヘッジ)

対象ファンド数

当社9ファンド/業界全体31ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド9本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
2.3	▲ 7.2	▲3.7	▲1.1	1.58

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

新興国の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	e M A X I S 新興国債券インデックス (為替ヘッジあり)	2016/07/01	17	
2	PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	2013/02/20	0.3	
3	PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)	2011/02/16	49	
4	エマージング·ソブリン·オープン (資産成長型) 為替ヘッジあり 〈愛称:エマヘッジN〉	2013/11/06	21	
5	エマージング・ソブリン・オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	2009/03/18	85	
6	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	2005/03/04	46	
7	ピムコ·エマージング·ボンド·オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年 1 回決算型)	2013/10/31	2	
8	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	2009/04/28	18	
9	ラップ向けインデックス f 米ドル建て新興国債券(為替ヘッジあり)	2022/01/06	0.01	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・グローバル (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券・新興国型・アジア

対象ファンド数

当社3ファンド/業界全体5ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
11.0	8.7	7.1	5.0	1.72

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

アジアの新興国の債券を主な投資対象とする。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	アジア・ソブリン・オープン (毎月決算型)	2009/09/28	16	
2	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン(年2回決算型)	2009/01/16	5	
3	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン (毎月決算型)	2009/01/16	65	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・アジアカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券・新興国型・ハイイールド型

対象ファンド数

当社1ファンド/業界全体8ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
20.2	9.9	7.0	5.7	1.91

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

新興国(ラテンアメリカ、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の投資適格未満の債券を主な投資対象とする。これらの債券は、投資適格債券よりも相対的に価格変動リスクが高い傾向がある。

No	. ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型) 〈愛称:ブローイング・スター〉	2011/09/21	14	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・ハイイールド型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

23 外国債券・新興国型・ハイイールド型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体7ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ターン(%)			
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)	
1.7	▲9.3	▲ 4.9	▲ 1.7	2.12	

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

新興国(ラテンアメリカ、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の投資適格未満の債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。これらの債券は、投資適格債券よりも相対的に価格変動リスクが高い傾向がある。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉	2011/09/21	25	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・ハイイールド型 (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

24 外国債券・新興国型・その他

対象ファンド数

当社16ファンド/業界全体80ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド16本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
17.7	6.5	4.9	3.1	1.99

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

新興国の債券を主な投資対象とするものの、他の外国債券のカテゴリに該当しないポートフォリオに適用される。 例として為替オーバーレイやカバードコールなど様々な投資戦略を同時に活用しているファンドなどが挙げられる。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	P I MO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(年2回分配型)	2013/02/20	0.2	
2	PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	2011/03/31	42	
3	P I MCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	2013/07/01	1	
4	PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	2013/07/01	20	
5	P I MCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>(年 2 回分配型)	2013/02/20	0.3	
6	PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>(毎月分配型)	2011/03/31	1	
7	P I MCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(年2回分配型)	2013/02/20	2	
8	P I MCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	2013/01/16	43	
9	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアパスケット通貨コース>(毎月分配型) 〈愛称:グローイング・スター〉	2011/09/21	3	
10	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型) (愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	8	
11	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	5	
12	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型) (愛称:グローイング・スター)	2013/05/29	9	
13	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>(毎月分配型) (愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	103	
14	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型) (愛称:グローイング・スター)	2013/05/29	8	
15	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	77	
16	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	203	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・新興国型・その他カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

25 外国債券・短期型

対象ファンド数

当社3ファンド/業界全体5ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

	リター	ン(%)		
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
15.4	13.2	8.9	3.7	1.05

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

世界各国の政府債券、コマーシャルペーパーなどの短期債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、他のタイプの債券ポートフォリオに比べて金利変動リスクは低いものの、外国為替リスクが伴う。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:キュート〉	2006/12/20	22	
2	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド(為替ヘッジなし)	2017/06/14	17	
3	ワールド短期ソブリンオープン	2004/08/23	45	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・短期型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

26 外国債券・短期型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社2ファンド/業界全体3ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
0.9	▲ 1.8	▲0.8	▲0.6	0.87

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

世界各国の政府債券、コマーシャルペーパーなどの短期債券を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるポートフォリオは、他のタイプの債券ポートフォリオに比べて金利変動リスクは低い。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド(為替リスク軽減型)	2017/06/14	103	
2	ピムコ 短期戦略プラス・オープン (為替リスク軽減型)	2017/07/31	1	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[%]外国債券・短期型 (円 \land ッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

27 外

外国債券·転換社債型

対象ファンド数

当社1ファンド/業界全体17ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
11.2	3.2	7.2	5.3	1.54

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

カテゴリの定義

世界各国の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とする。

1	Vo.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
	1	先進国好利回りCBファンド2023-03(為替ヘッジなし)(限定追加型)	2023/03/10	170	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・転換社債型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

外国債券・転換社債型(円ヘッジ)

対象ファンド数

当社1ファンド/業界全体22ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
0.3	▲ 5.0	▲0.5	1.1	1.45

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

カテゴリの定義

世界各国の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とし、原則として為替ヘッジを行う。

No	. ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	先進国好利回りCBファンド2023-03(為替ヘッジあり)(限定追加型)	2023/03/10	252	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・転換社債型 (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

29 外国債券・その他

対象ファンド数 当社8ファンド/業界全体135ファンド

カテゴリの運用状況について

- ●当カテゴリに属する当社ファンド8本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- ●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。 (個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	コスト (%)
16.5	8.3	7.2	4.0	1.71

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

カテゴリの定義

世界の債券を主な投資対象とするものの、他の外国債券のカテゴリに該当しないポートフォリオに適用される。例として為替オーバーレイやカバードコールなど様々な投資戦略を同時に活用しているファンドなどが挙げられる。

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	2014/06/24	14	
2	PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	2014/06/24	103	
3	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	2010/09/27	14	
4	米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	2011/08/12	17	
5	米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	2010/09/27	21	
6	三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型) 〈愛称:ユーロスター・プレミアム〉	2012/06/15	57	
7	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)〈愛称:スマートスター〉	2013/10/15	12	
8	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)(愛称:スマートスター・プレミアム)	2014/07/31	22	

[※]当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。 各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

[※]コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

[※]上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

[※]外国債券・その他カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

当資料に関するご留意事項等

当資料に関してご留意いただきたい事項

- ●当資料は、三菱UFJアセットマネジメントのプロダクトガバナンス活動に関して当社が作成した資料であり、 金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ●当資料は勧誘を目的とするものではありません。
- ●投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。販売会社は当社ホームページでご確認いただけます。
- ●当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ●当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。 銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- ●クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご留意ください。

当資料で使用する指数について

●FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース):同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

モーニングスター・カテゴリについて

©2024 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1) Morningstarおよび/またはその関連会社またはコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複製、改作または配布してはならず、(3)正確性、完全性または適時性を保証するものではなく、(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者のいずれも、この情報の使用から生ずるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

設定·運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJアセットマネジメントのお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034

ホームページアドレス https://www.am.mufg.jp/

(受付時間/営業日の9:00~17:00)